

声なき声

た

よ

り

の

1997年10月3日発行
1960年7月15日創刊

この〈たより〉の中の文章はすべて自由に転載引用していただいってください。ただその転載または引用された印刷物を一部、当会に送ってください。

- 理想と願望：望月寿美子／●五十二年目の終わり：小林トミ
- ヌチドウ宝の家を訪ねて 青木和子／●私の6・15：本多立太郎
- 【追悼 君本昌久さん】小林トミ
- 【追悼 高梨富士三郎さん】小林トミ
- 【追悼 高梨先生を偲んで】鶴見勉

91

理想と願望

望月寿美子

「軍隊をなくす」

私たちはこの世から軍隊をなくし、戦争をなくすために活動しています。世界中から軍隊をなくすことが私たちの目標です。軍隊がなければ、戦争はしたくもできません。戦争は、資源の浪費はありません。また戦争が起らないように、戦争に向けての軍備増強は、ばく大な資源の浪費です。そのことの費用を飢えている人たちのために使えば、どれほどの人が救われることでしょうか。どうすれば軍隊をなくすことができるでしょうか。多くの人が思っていることを、

素直に、率直に叫べば良いのです。

「軍隊はいらない」「戦争をなくそう」「

飢えた人にお金をまわそう」「みんなが本気にさえなれば、これは実現可能なことです。

（自衛官連帯して習志野基地を解体する会）

私はこの考そのような世の中になつて欲しいと熱烈望みます。

ところが日米安保係見直しで有事立法がさわがしい。戦後五十二年たつても軍隊を引き揚げない米國、八月には小樽港にインデペンデンスを寄港させた。この艦船はトマホーク搭載問題にちり基地の横須賀佐世保でも入港反対運動が激しかった。

そのインデペンデンス艦を一般の港に寄港させる事は？ 業務員の慰労と土地の人々との親善のため、と艦長の挨拶でした。しかし、キヤッチピースの八月号によると、小樽寄港について、

有事にどの港にも米艦船が自由に寄港出来る訓練。

一、港内の検分。

一、市民の反応の調べ

一、更に他の港でも小樽に従つて寄港受入れること

一、危険信号が載った。

私も同感です。

強大口の米口はこうして諸外口に干渉するのです。ニュージブラッド独立後はアヤに進出し日本をまき込んで韓口と軍事演習を盛んにくり返している。

中口、台湾の間にまで割り込んでの行動もとても異にちります。

その米口の顔色ばかり気にしている日本政府は対人地雷全面禁止条約に調印しない。

地球は米口のためだけで回転しているではありません。多教民族の生活帯です。どんな小口でも自口の誇りと信念を大切に、世界中に親善善美の理想を展げてゆくことでしょう。

日米間で有事立法がさわがれていますが政府は米口中心に考え近隣諸口に敵対することは愚の至りです。それこそ戦争屋の口車にのせられることではないでしょうか。

戦争は絶対しない。この信念で戦後を耐えて来た私たちは、平和のためなら負しきにもがまん出来ます。然し沖縄問題も解決せず、シン都合主義の米軍のおも、やり予算などのための増税にはだまされて、いられません。

平和を願う人達のため、平和資料協同組合

